



新年のご挨拶

新年あけましておめでとうございます。皆さまには、輝かしい新春をお迎えのことと心からお喜び申し上げます。

新年を迎えるにあたり、改めて当院の役割を再度見つめ直し、住み慣れた地域の中でいつまでも安心して生き生きと暮らすために、微力ながら医療者としての役割を果たして行きたい所存でございます。


結びに、平素より当院にご理解ご協力を頂いています患者様、関係者の皆様に厚く御礼を申し上げます。本年もよろしくお願い致します。



院長 曾根 淳史

マスクを正しく使用しましょう


マスクを着用する







マスクをする

くしゃみや咳が出ている間はマスクを着用し、使用後のマスクは放置せず、ごみ箱に捨てましょう。
マスクを着用していても、鼻の部分に隙間があったり、あごの部分が出たりしていると、効果がありません。鼻と口の両方を確実に覆い、正しい方法で着用しましょう。

<正しいマスクの着用>



鼻と口の両方を確実に覆う → ゴムひもを耳にかける → 隙間がないよう鼻まで覆う

口と鼻を覆う	すぐに捨てる
 <p>ティッシュなどで口と鼻を覆う</p> <p>周囲にかからないよう顔をそらせ、ティッシュなどで口と鼻を覆う</p>	 <p>鼻をかんだティッシュはすぐにゴミ箱に</p> <p>口と鼻を覆ったティッシュは、すぐにごみ箱に捨てましょう。</p>
周囲の人からなるべく離れる	こまめに手洗い
 <p>他の人から顔をそらす</p> <p>くしゃみや咳の飛沫は、1~2メートル飛ぶと言われてています。</p>	 <p>石けんぞ手も洗う</p> <p>くしゃみや咳などを押さえた手から、ドアノブなど周囲のものにウイルスを付着させたりしないために、インフルエンザに感染した人もこまめな手洗いを心がけましょう。</p>

ノロウイルスによる感染性胃腸炎に注意ください！

ノロウイルスは手指や食品などを介して、経口で感染し、ヒトの腸管で増殖し、おう吐、下痢、腹痛などを起こします。健康な方は軽症で回復しますが、子どもやお年寄りなどでは重症化したり、吐いたものを誤って気道に詰まらせて死亡することがあります。一年を通して発生していますが、特に冬季に流行します。潜伏期は1～2日で、おう吐や下痢が治まっても3～7日間ほどウイルスが便中に排出されると言われています。ノロウイルスはワクチンがなく、治療は輸液などの対症療法に限られます。このウイルスの感染経路はほとんどが経口感染です。従って、皆様の周りの方々と一緒に、次の予防対策を徹底しましょう。



○患者の便や吐ぶつには大量のウイルスが排出されるので、

- ①食事の前やトイレの後などには、必ず手を洗いましょう。
- ②下痢やおう吐等の症状がある方は、食品を直接取り扱う作業をしないようにしましょう。
- ③胃腸炎患者に接する方は、患者の便や吐ぶつを適切に処理し、感染を広げないようにしましょう。

○特に、子どもやお年寄りなど抵抗力の弱い方は、加熱が必要な食品は中心部までしっかり加熱して食べましょう。また、調理器具等は使用後に洗浄、殺菌しましょう

(ノロウイルスに関するQ&A 厚生労働省より引用)

ノロウイルス感染症の場合、便や吐ぶつで汚染があった場合の消毒は、次亜塩素酸ナトリウムを使用します。一般的にアルコールは無効とされています。

◆診療科目

内科・消化器内科・循環器内科・外科・消化器外科・整形外科
泌尿器科（人工透析）・皮膚科・形成外科・人間ドック

◆一般外来 受付時間

午前診：午前8：30～午前11：30

午後診：午後1：30～午後4：30（土曜日は午前のみ）

◆休診日

日曜・祝祭日・土曜日の午後

◆病床数 60床 一般病棟(障害者施設等一般)

〒626-0041 京都府宮津市字鶴賀2059番地の1

病 院 電話：0772-22-2157/FAX：0772-22-1125

地域連携室 電話：0772-22-2221/FAX：0772-22-2229